

No. 10-3

事務事業評価シート1-1

は、プルダウンメニューから選択

事務事業No. 10 - 3

事業分類		<input checked="" type="checkbox"/> ソフト <input type="checkbox"/> ハード <input type="checkbox"/> 必需		公的関与		9		作成日		26年 6月 16日		
事務事業名		シルバー人材センター補助事業						シート作成部署				
総合計画上の位置付け	基本施策	2 人にやさしいまち						課名	長寿福祉課		係名	高齢福祉係
		2-2 支えあいを実感できるまちをつくる							シート作成者			
	施策	2-2-3 高齢者福祉の推進						予算費目	会計		一般	
									款		3	
主要施策	⑤ 生きがいづくりと社会参加の促進						項		1			
							目		2			
個別計画名		高齢者福祉計画										
		介護保険事業計画										
住民との関わり		住民の自主活動に対する支援（「場」の提供、資金援助、情報提供）										
事業の対象・目的・内容	対象（誰を、何を）				目的（どういう状態にしたいのか）							
	シルバー人材センター事務局職員人件費及び60歳以上の会員				第一線を退かれた60歳以上の方の長年養った職業的経験や知識、技能を生かし就業機会、社会参加の場を提供することにより、退職後の生きがいと健康づくりに大いに影響を与えることができる。							
	事業内容（どのような方法で、何を行うのか）											
60歳以上の方を対象として構成されるシルバー人材センターに対し、就業機会確保事業費等の支援を行い、長年養った職業的経験や技能を生かすことのできる仕事を提供し、高齢者の社会参加の促進、生きがい就労への支援を行う。												
事業期間		昭和 <input type="checkbox"/> 平成 <input checked="" type="checkbox"/> 5年度		～		平成 年度（ 年間）		<input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし				
根拠法令・要綱等		東員町生活福祉部健康保険課、地域福祉課及び長寿福祉課に関わる補助金等交付要綱 高齢者等の雇用の安定等に関する法律										
		平成24年度（決算）			平成25年度（決算）			平成26年度（予算）				
全体事業費（千円）A+B		10,432			9,162			7,892				
財源内訳	国庫支出金		0			0			0			
	県支出金		0			0			0			
	地方債		0			0			0			
	その他特定財源		0			0			0			
	一般財源		9,640			8,370			7,100			
直接事業費（千円）A		9,640			8,370			7,100				
人件費（千円）B		792			792			792				
内訳	一般職員（人・千円）		0.12 人 792		0.12 人 792		0.12 人 792					
	臨時職員（人・千円）		人 0		人 0		人 0					
成果指標	成果指標名				単位	25年度		26年度	27年度			
						目標	実績	(目標)	(目標)			
	①	会員登録者数			人	350	256	350				
	②											
③												
説明	シルバー人材センターの会員登録者数を指標とする。											

事業名	シルバー人材センター補助事業	シート作成課	長寿福祉課
-----	----------------	--------	-------

一次評価者	長寿福祉課長	二次評価者	生活福祉部長
-------	--------	-------	--------

評価項目の説明	チェック項目		一次の評価又は説明	
	一次	二次		
必要性	1. 事業開始時の目的を概ね達成するなど実施意義が低下している。 2. 社会情勢の変化など時の経過とともに事業開始時の目的が変化してきている。 3. 利用者、対象者の減少など住民ニーズの低下傾向がみられる。 4. 住民ニーズを上回るサービス提供となっている。 5. 国や他市町と比較するとサービスの対象や水準を見直す余地がある。 6. 国や県のサービスと重複している。 7. 民間のサービスと競合している。 8. 厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	高齢者の就業支援事業として必要であり、社団法人としての自主運営に向けた円滑な取り組みが図られるよう支援が必要と考えます。
有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。 2. 施策への貢献度が著しく高いとはいえない。 3. 施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。 4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	高齢者の就業機会、生きがい対策としての存在意義はあり有効な事業です。
達成度	1. 事業開始時の目標設定に比べて進捗状況が劣っていると思う。 2. 事業開始時の目標に比べて成果があまり上がっていないと思う。 3. 概ね目標を達成していると思う。 4. 十分に目標を達成していると思う。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/>	企業の定年延長や再雇用制度等が普及しつつある中、会員数の増加はないものの、安定した会員を維持し、活発な活動を行っています。
効率性	1. 効果に比べてコストが高い（他市町や類似業務を行う民間に比べて）。 2. 現在の事業実施主体の他に効率的に事業を実施できる主体がある。 3. 他の実施主体のノウハウを活用できる。 4. 他の実施主体を活用しても公平性・公正性等が担保され、行政責任が問われない。 5. 事業実施している人員、手段等の見直しによりコスト削減の余地がある。 6. 電子化等の事務改善によりコスト削減の余地がある。 7. 契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	普及啓発活動や新規事業の確保など、一層の自立性を高めるよう支援を行います。

本事務事業の実施適切性の説明

高齢者の就業機会の確保や社会参加の促進が図られています。
 会員の増強や新規事業の確保に取り組み、一層の自立性を高めるよう引き続き支援を行います。

一次評価	評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	
		4	4	4	3	B	A
	今後の方針	休・廃止		見直し		継続	拡大
今後の改革・改善目標	高齢者等の雇用の安定等に関する法律に基づき、シルバー人材センターの役割を明確にし、また、円滑な事業運営が図られ自主・自立性が高まるよう支援します。						

二次評価	評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	
		4	4	4	3	B	A
	今後の方針	休・廃止		見直し		継続	拡大
コメント	設立以来今日まで、常に高齢者の就業機会の拡大に意欲的に取り組まれています。景気の低迷により受注額の減少傾向が見受けられますが、更なる営業努力を期待すると共に、円滑な事業運営が図られ、地域支援事業も含め今後の運営に期待します。						

二次評価に対する課の考え方							
---------------	--	--	--	--	--	--	--

参画協働の今後の方針	いつから	平成	年度から	1	現在の手段を継続する		
------------	------	----	------	---	------------	--	--